

長中だより

第6号（平成29年7月14日発行） 発行者 校長 小貫 崇明



【7月の生活目標】

- ・ 日常生活を振り返って自分を成長させよう。
- ・ 1学期の反省と夏休みの計画。

○長沼中の2人が全国大会へ！～がんばれ勇斗君、燎君～



7月5日・6日に郡山市開成山陸上競技場にて行われた県中学校体育大会陸上競技大会には、長沼中から3つの個人と2つのリレーが出場しました。5日には、まず1年の高久美涼さんが1年女子100mに出場し、準決勝まで進出しましたが惜しくも決勝進出はできませんでした。また、低学年女子及び共通男子4×100mリレーは残念ながら予選落ちしてしまいました。共通男子800mに出場した3年阿部燎君は、順調に予選を通過し、準決勝では転倒しながらも3位に入り、6日の決勝まで駒を進めました。そして、共通男子100mに出場した3年高久勇斗君は、予選を11秒23で通過すると、準決勝で11秒15を記録。全国標準記録11

秒20を突破したので、全国大会に出場することが決定しました。さらに、決勝では追い風参考ながら11秒04というさらにすばらしい記録で優勝し、東北大会の切符も手に入れました。

6日には、共通男子800m決勝が行われ阿部燎君は、2分00秒29のタイムで第2位に入り、全国標準記録2分00秒50も突破したので、東北大会及び全国大会へ出場することが決定しました。（二人を紹介した新聞を手にする高久勇斗君と阿部燎君⇒）

勇斗君と燎君はともに全国大会を目指し、二人で努力してきた盟友であり、中1の頃から二人で目指してきた夢を実現しました。今度は東北（青森・8月8～10日）と全国（熊本・8月19～22日）という檜舞台でさらに大きな夢を実現してほしいと思います。



○充実の「総合的な学習の時間」～各学年で実施～

総合的な学習に時間は、各学年ともに特色を持たせ、小中一貫教育として9年間の学びをふまえた内容になっています。1学期後半の学習活動を紹介します。

1 学年 → 江花川体験学習

地域の「遊水会」の皆さんにご協力をいただきながら、長沼地域の土地の成り立ちや江花川に棲む生き物と現在の様子などを学んできましたが、7月12日はいよいよ江花川に入り水質を実際に判定し、長沼の環境についてよりリアルに感じる体験をさせていただきました。豚汁なども準備いただき、楽しみながら学ぶことができました。



2 学年 → 職場体験

可能な限り生徒のニーズに応えようと16の事業所に受け入れいただき、7月10日に職場体験を実施しました。残念ながら第一希望ではないところになってしまった生徒もいる中、それぞれの生徒が実際の職場での苦労や喜びを体験しながら、将来の生き方について考える参考にしてもらえればと思います。



3 学年⇒ねぶた制作

今年度のねぶた制作の特徴は、図柄がより鮮やかで繊細になったことです。また、例年使い回してきた台車も大規模にリニューアルされることになり、地域の皆さんに感動していただけるものになるよう、3年生全員で最高の「長沼まつり」をめざして頑張っています。



○第 1 回学校評議委員会



7月7日（金）、第1回学校評議委員会を実施いたしました。1名欠席のため4名の評議員の皆様へ委任状を交付しました。現在の生徒の状況などについて説明した後、全部の学級の授業を参観いただきました。また、現在制作中のねぶたも見いただきました。参観後の意見交換では、中体連や奇跡のあじさい植樹祭における長沼中生の活躍についてお褒めの言葉をいただきました。また、今後のさらなる活躍に期待するご意見をたくさんいただきました。2学期の学校運営に生かしていきたいと思っております。



○校長先生からの夏休みの宿題・・・「素敵な夏休みにする」ことです

夏休みには問題集1冊とかノート何ページとか、期限までに提出とか、子どもたちにとって多少ありがたくない宿題があるかもしれません。しかし、学校は宿題を出すことによって休み中の学習習慣の維持や受験対策などを狙っていますから、無くすことは難しいでしょう。そこで、先生方から「つらい」宿題が出る前に、校長からまず素敵な夏休みという「ゆるい」宿題を出したいと思っております。さて、夏休みを素敵にするためにはどうすべきか？こんなことはどう



でしょうか・・・思わず友達や担任の先生に話したくなるような経験をする、普段行けないようなところに行く、それまでできなかったことができるようになった、自慢できるくらい頑張った自分や今までには見つからなかった自分を見つける、そんな素敵な瞬間が一瞬でもあればいいな~と思っています。そして、それには家族の協力が必要です。保護者の皆さん、子どもたちに「素敵な夏休み」をお願いします。

★大切にしたい言葉(6) 「**考えは言葉となり 言葉は行動となり 行動は習慣となり 習慣は人格となり 人格は運命となる**」

特に長中の3年生を見ていると、その言葉の端々から、出しゃばらないけれどしっかりした考えや人間としての誠実さを感じます。だからこそ小さな学校でも、部活動が充実したり、全校合唱で人々を感動させたり、夢の全国大会出場を手に入れたりすることができたのではないかと。まだまだ下級生は考えがうまく言葉にならず行動も幼稚なところがありますが、きっと先輩のよいところを学んで、運命をどんどんよい方向へ変えていくのではと期待しています。

⇒1学期は長沼中生がまさに大活躍の学期でした。2学期はさらに大活躍が続く学期にしたいです。2学期の始業式は8月25日(金)です。これからもいろいろとお世話になります！！